



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学報

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。

2016.7.14

号外



祝
サッカーチーム

中国大学サッカー選手権優勝
第40回総理大臣杯全日本大学
サッカートーナメント出場
(2年ぶり6回目)

優勝
おめでとう！

福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」



中国大学サッカー選手権優勝！ 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント出場！

【総評戦績】

◎ 2回戦 5月21日(土) 会場：徳山大学サッカー場

福山大学 9 (7-0・2-0) 0 広島国際大学

【得点】前7' 金田, 前12' 廣江, 前16' 加次, 前24' 加次, 前27' 渡邊, 前32' 渡邊, 前35' own goal, 後26' 金田, 後44' 安山

◎ 3回戦 5月22日(日) 会場：徳山大学サッカー場

福山大学 3 (1-0・2-0) 0 川崎医療福祉大学

【得点】前21' 加次, 後7' 平山, 後45+1' 林

◎ 準決勝 5月28日(土) 会場：徳山大学サッカー場

福山大学 2 (1-1・1-0) 1 徳山大学

【得失点】前17' 徳山大学, 前27' 加次, 後37' 林

◎ 決勝 5月29日(日) 会場：徳山大学サッカー場

福山大学 2 (2-0・0-0) 0 広島経済大学

【得点】前3' 林, 前33' 加次



- ・サッカーチームHP
<http://web.fukuyama-u.ac.jp/student/circle/soccer/index.html>
- ・サッカーチームブログ
<http://fukudai06.blog43.fc2.com/>
- ・サッカーチームfacebook
<https://www.facebook.com/fukudaifootball>
- ・サッカーチームYoutubeチャンネル
<https://www.youtube.com/user/fukudaisanzo>
- ・サッカーチームtwitter
[@fukudaisanzo](#)

今シーズンの中国大学サッカー選手権は、4試合で16得点1失点という安定した試合運びが数字にも表されました。

2～3回戦では、2試合で合計26名の選手を起用することができました。これにより、多くの選手が公式戦での出場を経験しながらも、チームとして勝ち上がることができました。また、2日間で2試合というハードスケジュールでしたが、コンディションを落とす選手も現れませんでした。

今年度の総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントは、第40回の記念大会ということで、中国地方からは2チームに出場権が与えられます。そのため、準決勝の徳山大学戦では非常に厳しい戦いとなりました。前半17分という早い時間帯に失点を許してしまったが、難しい展開となりましたが、前半のうちに同点に追いつくことに成功しました。さらに、後半も両チームともに特徴を出し合った激しい戦いになりましたが、後半37分、逆転に成功して総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントへの出場権を獲得することができました。昨年度大会では、決勝戦に進出しながらも敗れてしまい、全国大会への出場権を逃していました。しかし、今年度大会の決勝戦では主将を中心にチームがまとまり、高いモチベーションで挑むことができました。キックオフ直後の前半3分に先制点を上げ、試合を優位に進めて前半のうちに追加点を上げることができました。そして、後半も力を出し切り、そのまま2-0で勝利し、2年ぶり6回目の優勝が決定しました。

今大会では、主将を中心とした4年生のチームマネジメントにより、規律と明るさの両方を兼ね備えた理想的なチームになれたことが優勝した要因です。そして、まだまだ進化する今シーズンのサッカーチームに、今後も期待してほしいと思います。

学長祝辞

優勝おめでとう！4年生、頑張る！

サッカー部の皆さん、第40回中国大学サッカー選手権での優勝、誠におめでとうございます。そして、第40回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントへの出場権も勝ち取りました。早朝あるいは授業後の夕刻からの日頃の練習と努力のたまものです。よく頑張りましたね。全国大会でも、一戦一戦勝ち上がっていきましょう。今回は、主将も2人の副主将も4年生で、レギュラー選手の半数以上が4年生でした。というわけで、8月6日(土)から始まる全国大会までには、教育実習

に行く学生もいれば、就活に頑張る学生もいますが、そうした中でさらに学友会活動としてのサッカーの練習を高いレベルで続けるということは、何事にも代えがたい成長の糧です。後に続く後輩にも、しっかりと頑張りを見せ、次につなげてください！

学長 松田 文子



監督から一言

この度、平成28年度中国大学サッカー選手権に優勝し、第40回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントへの出場権を得ることができました。この優勝は、選手たちの日々の真摯な取り組みの成果であることに疑いの余地はありません。現在、部員は110人の大所帯ですが、これだけの人数がまとまるることは容易ではありません。しかし、現在のサッカー部の一体感は賞賛に値します。選手一人ひとりが、福山大学の学生であることを自覚するとともに「誇り」を持って戦ってくれています。大学への感謝の気持ちを日々の活動で恩返しするべく、毎日努力を重ねています。監督である私にとっても、自慢の選手たちです。このメンバーであれば、全国大会での勝利もきっと成し遂げてくれるはずです。ともに選手たちを信じましょう。

監督 吉田 順史



主将から一言

サッカー部は、平成28年度中国大学サッカー選手権において、2年ぶり6回目の優勝を果たすことができました。昨年は、中国大学サッカー選手権(準優勝)・天皇杯広島県予選(準優勝)・中国大学サッカーリーグ(第2位)と全大会で優勝を逃し、あと一歩のところでタイトルを取ることができませんでした。中国大学サッカーリーグでは第2位だったため、四国大学サッカーリーグ第2位の四国学院大学とのプレーオフで激戦の末に何とかPK戦で勝利し、全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)へプレーオフ枠として出場しました。しかし、1回戦では2年前の総理大臣杯で敗れた鹿屋体育大学と対戦し、敗退してしまいました。そして、新チームになり4年生でミーティングを重ね、この悔しさを忘れず、今年こそその場所で学生時代に成し遂げた「3冠」、そして私が入学して未だに勝つことができていない全国大会での勝利を目標に掲げました。サッカー部は、「卒業後に社会で活躍できる人間になる。」という部として掲げてきた目標があります。そこで、ただ勝つためだけのサッカーはしない、ここはぶれずにサッカーの技術面やメンタル面だけでなく、人間として成長できるクラブにしようとした決めました。そして、誰からも応援されるチームになるために、練習態度、意欲、私生活からもっとよくしていこうと思い、やってきました。その成果は練習への取り組みなどに現れ、チームとしていい方向に向かっていきました。また、シーズン前の3月に行った関西遠征では個々のスピードやフィジカルの差を感じ、全国大会で勝つためには1人1人の成長が必要だと改めて実感しました。パスワークや攻撃は通用した部分もあり、自信になりました。さらに、4月からは多くの新入生に入部していただき、100人を超える部になりました。そこで、トップチームは朝の6時30分から練習を行い、生活習慣の改善にもつながりました。そして、サッカーに取り組む姿勢もよくなり、シーズン開幕戦へ向けていい準備ができました。しかし、リーグ開幕戦は一瞬の隙を突かれ、引き分けと満足する結果ではありませんでした。応援していた選手に、



「勝ちたい気持ちが伝わらなかった。」と言われ、足りないものは明確でした。そこから、試合前と試合後に選手間のミーティングで積極的に意見を言う選手も増え、練習から気持ちを強く持って、以前より質の高い練習を行うことができました。そこから、リーグ戦では3連勝と勢いに乗り、中国大学サッカー選手権を迎えることができました。毎試合ベンチ入りするメンバーが変わり、誰が出ても同じサッカーができる層の厚さがポジション争いを生み、切磋琢磨していることで毎試合とも気持ちの入った試合ができ、メンバーに入れなかった部員の応援も素晴らしい、全部員が1つになりチーム一丸で掴んだ優勝でした。

今回、このような結果が残せたのは多くの大学関係者のおかげだと思います。最高の環境でサッカーをさせていただき、何不自由なく活動できていることに感謝の気持ちを持ち、全国大会までの期間で最高の準備をして臨みたいと思います。これからも、サッカー部の取り組みで少しでも恩返しができるように精一杯頑張ります。全国大会もチーム一丸となり、いい報告ができるように頑張りますので、応援のほどよろしくお願ひいたします。

経済学科 4年 前原 翼



出場選手のコメント（登録メンバー30名）

背番号	氏名	ポジション	学年	出身高等学校	身長	体重	プレーの特徴
1	臼井 優汰	GK	4	広島県立安芸府中高等学校	171	69	堅実
2	永瀬 正敏	DF	4	広島県・広島県瀬戸内高等学校	170	63	チームのムードメーカー。
3	常森 恭平	DF	4	広島県・広島県瀬戸内高等学校	180	72	安定感と存在感のあるセンターバック。
4	越智 拓巳	DF	4	大分県・大分東明高等学校(大分U18)	182	78	1年生より不動のセンターバック。中・四国大学選抜。
5	石上 裕也	DF	4	島根県・開星高等学校	170	60	左サイドを制圧するサイドバック。
6	松島 圭汰	DF	4	香川県・尽誠学園高等学校	172	60	右サイドからタイミングの良い攻撃参加。
7	前原 翼	MF	4	広島県・盈進高等学校	167	58	圧倒的なキャプテンシー。福山大学攻守の要。中・四国大学選抜。
8	平山 諒	MF	2	鹿児島県・神村学園高等部	165	52	2年生にして攻撃の起点。
9	國師 龍也	FW	4	鹿児島県・神村学園高等部	164	53	福山大学のエース。中・四国大学選抜。
10	林 遥	MF	4	島根県立大社高等学校	178	65	得点力のあるMF。中・四国大学選抜。
11	加次 佑	FW	4	広島市立沼田高等学校	173	60	福山大学の点取り屋。中・四国大学選抜。
12	土屋 亮太	GK	4	広島県立神辺旭高等学校	173	77	コーチングで守備を構築。
13	石橋 廉	MF	3	島根県・開星高等学校	172	62	スピードのある突破。
14	湯浅 裕哉	MF	4	徳島県立富岡東高等学校	168	60	福山大学のチャンスメーカー。
15	中山 翔	DF	3	広島県・如水館高等学校	170	62	スピードのあるセンターバック。
16	畠 裕喜	DF	2	静岡県・東海大学付属静岡翔洋高等学校	173	72	強靭なフィジカルで相手をストップ。
17	矢島 健	FW	3	島根県・立正大学沢南高等学校	170	67	独特の間合いで打開する。
18	小田 周平	FW	2	島根県立大社高等学校	171	67	群を抜くスピードで相手の裏を突く。
19	中村幸太郎	MF	3	山口県立豊浦高等学校	167	58	中盤のバランサー。
20	竹田 大地	MF	1	島根県立大社高等学校	173	63	万能ボランチ。
21	藤原真之介	GK	1	和歌山県・初芝橋本高等学校	182	73	抜群のシュートストップ。
22	渡邊 翼	MF	1	広島県立広島皆実高等学校	169	62	強気な仕掛けで相手を混乱させる。
23	島村 陸	DF	1	広島県・広島県瀬戸内高等学校	175	65	DFならどこでもこなす。
24	藤井 敦也	DF	2	広島県・広島県瀬戸内高等学校	170	62	サイドを駆け上がる。
25	安山 大樹	FW	2	福岡県・筑陽学園高等学校	174	64	スピードの緩急で相手を置き去りにする。
26	金田 直登	MF	1	岡山県・岡山学芸館高等学校(岡山U18)	166	61	テクニックを発揮するMF。
27	鈴木 輝隆	MF	3	栃木県・佐野日本大学高等学校	173	63	安定したプレーでチームに落ち着きを与える。
28	檜谷 知輝	FW	1	広島県立福山明王台高等学校	175	64	スケールの大きなFW。
29	戸田 大貴	MF	4	広島県・広島県瀬戸内高等学校	168	63	中盤で相手の攻撃の芽を摘む。
30	廣江 太輝	MF	1	島根県立大社高等学校	166	60	高い技術で仕掛ける。

2016年度 第40回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント表

